

日本フラッグフットボール協会

会報

[創刊号]

JFFO newsletter Volume 1

目次

創刊にあたり	
指導者講習会	・P.1
教材について	・P.2
用具について	・P.3
児童の感想等	・P.4
研究調査活動	・P.5
指導案の紹介	・P.6

創刊にあたり

「皆が協力して頭と体を使い合い、一つのことを達成する」というチームスポーツを通じた成功体験は今その社会的重要性が高まっています。

日常的にチームスポーツを楽しむことは自信の獲得に繋がるだけでなく、そこに新しい仲間との出会いがあり、新しいコミュニティが生まれていきます。

しかし、このチームスポーツにおいて日本社会は別の問題を抱えています。それは競技力や技術の高度化が進んでいることによって、「運動ができる、できない」、「やる、やらない」が明確に分かれた「運動の二極化」が起きていることです。

「そのスポーツができる人」だけが参加するものではなく、どんなレベルの人でも一緒に協力し合ってチームスポーツを楽しむことができる機会がこれからの時代に求められます。

フラッグフットボールは「誰もが能力に応じた役割を持ち、全員で実行することが、『作戦』によって構造化されている、新しいチームスポーツ」です。

日本フラッグフットボール協会はフラッグフットボールの特徴を最適な形で広く社会に提案し、必要な寄付活動を全国に展開することで、皆が協力し合って生きていくことを実感できる「機会」を提供します。

小中学校での授業での取り組みはフラッグフットボールを体験できる最高の機会であり、これからも沢山の体験に微力ながら支援できればと願い、本会報を発行致しました。是非ご一読頂ければ幸いです。



一般財団法人 日本フラッグフットボール協会



教育貢献活動



2011 指導者講習会

講師派遣のご報告

北海道、千葉県、長野県、岡山県、福岡県など、全国各地にて開催された指導者講習会に講師を派遣し、2011年度は、1,000人を超える先生にご参加いただくことができました。ありがとうございました。

・講師紹介

- 高橋健夫（日本体育大学大学院教授）
- 岡出美則（筑波大学体育系教授）
- 松元 剛（筑波大学体育系准教授）
- 吉永武史（早稲田大学准教授） 他



2012 指導者講習会

派遣依頼を受付中

協会の寄付活動として、指導者講習会に無償にて講師を派遣しており、使用する用具や教材もご用意しております。

教育委員会や体育部会等で、フラッグフットボールの講習会を検討される場合は、是非ご連絡ください。

※会場や参加者への広報等につきましては、ご協力をお願いしております。

指導者講習会お問合せ先

TEL 03-5302-1317 担当 小川・藤城
メール info@japanflag.org



東日本大震災復興支援活動

用具寄贈のご報告

このたびの東日本大震災におきまして、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

東日本大震災は学校にも甚大な被害を及ぼし、教育活動にも大きな影響を与えています。

そこで、できる限りの支援を行うべく、約 3500 球のボールを「岩手県」「宮城県」「福島県」の学校に寄贈いたしました。（協力：NFL）

また、全国小学校フラッグフットボールパッケージを 300 校の予定を 330 校に拡大し、被災地域を最優先として寄贈いたしました。（協力：江崎グリコ株式会社）



教育貢献活動

2011 教材 テキスト無償配布のご報告

全国の教育関係者の皆様に、2011年12月まで、テキスト計8,000冊を無償にて配付させていただきました。

配付を希望される方は、下記協会まで別途ご連絡ください。

ご連絡先 info@japanflag.org



2012 教材 教材パックを販売中

新学習指導要領の施行に合わせ、フラッグフットボールの具体的な学校授業の進め方を、分かりやすさを第一としてまとめました。

下記、「指導テキスト」「DVD」「ゲーム集」の3点教材をパックにしてお届けいたします。

フラッグフットボール
『はじめての小学校授業オフィシャル教材パック』
販売金額 1980円(税込)
※協会WEBサイト及び Amazon.comにて購入可能

●指導テキスト

グループ分けやフィールドの作り方から、単元計画・指導計画・評価案まで、分かりやすさを第一にご紹介しています。

特に指導計画については、低・中・高学年全てイラスト化し、授業の様子を俯瞰図として把握いただけるよう工夫いたしました。

[約80ページ、全編カラー]

●DVD

授業づくりから、45分の授業の様子、ミニゲームの紹介まで、映像で分かりやすく紹介しています。

実際に行ったフラッグフットボールの45分の授業を映像でご確認いただけますので、授業のイメージづくりにお役立てください。

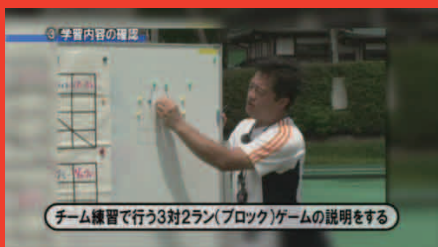
[約30分、DVD]

●ゲーム集

無償配布を行っていた白黒テキストをカラーに改訂し、さらに低学年のコンテンツも追記いたしました。

低学年から高学年まで16のゲームを系統的に紹介しております。

[約40ページ、全編カラー]





教育貢献活動

2011 用具 用具寄贈のご報告

2010 年度より、江崎グリコ株式会社様のご協賛によって、全国の小学校へフラッグフットボールの用具と教材をパッケージにしてプレゼントする『全国小学校フラッグフットボールパッケージプレゼント』事業を実施しており、2011 年度は計 330 校の小学校にプレゼントいたしました。(2010 年度は 200 校)

ホームページにて特集しておりますので、是非ご覧ください。

2012 年度も継続して実施を予定しており、
会報でも適宜ご案内を進めてまいります。



2012 用具 用具貸出受付中

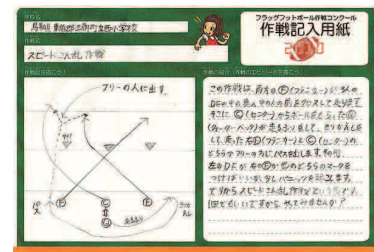
全国小中学校へ用具の貸出しを行っております。

(ボール 20 個及びフラッグ 40 本)

※ホームページから貸出しのお申込みをいただけます。

2011 第 1 回作戦コンクール 結果のご報告

第 1 回作戦コンクールでは、大賞やアイデア賞など計 8 校の学校を受賞校に選出し、オリジナルの表彰状やクラス全員分の記念 T シャツやタオルを贈呈いたしました。



2012 第 2 回作戦コンクール 応募作品受付中

第2回フラッグフットボール作戦コンクールは、2012 年 2 月末までご応募を受付けております。なお、第2回より参加賞として、クラス全員分の下敷きを必ずプレゼントしております。

頑張って作った作戦をコンクールにご応募いただくことで、子どもたちの意欲向上や言語活動の充実にお役立てください。

※応募方法の詳細はホームページにてご確認ください。





全国小学校フラッグフットボールパッケージプレゼントでは、子どもたちからもたくさんメッセージが寄せられました。その一部をご紹介します。

『はじめは、ボールを落として全然上手にできませんでした。でも、だんだん受け手側と渡す側の息が合ってきて、チームワークも深まって点がとれるようになって勝つうれしさ、負ける悔しさが深くなってきました。自分達の作戦が成功したときは、すごくうれしかったです。』

『フラッグフットボールは、みんなが仲良くなる運動なんだなぁということがわかってよかったです。』

『フラッグフットボールは、作戦が成功するとうれしいし、失敗しても次はどういう作戦がいいかと考えることができ、とても楽しい運動でした。』

『失敗した作戦もあるけれど、作戦が成功したときは、すごくうれしかったです。』

『チームの仲もよくなったし、チームプレーも良くなってよかったです。』

『今までの体育は、頭をあまり使わなかったのに、フラッグフットボールは、作戦を考えて、頭を使ったのですごく楽しかったです。』

『ふつうの体育は、頭をそんなに使わないけれど、フラッグフットボールは、頭を使う体育なので、体も頭も動かすことができました。』

『ボール運動が、あまり得意でない私でも、フラッグフットボールは、楽しくできました。またやってみたいです。』

『みんなと協力したり、作戦を練ったり実行したりして、頭と体を使うのが楽しかったです。みんなで遊ぶ時もこんなふうにやってみたいです。』

『フラッグフットボールが来てから、毎日の休み時間が楽しみになりました。私は、最初はボールがきれいに回らなかったけど、先生に教えてもらってまっすぐに回転して投げられるようになりました。フラッグを取るのなかなか難しいけど、取れた時は「やった～！！」という気分でした。上手になって試合もやってみたいです。』

『これまで以上に作戦や協力が必要だということがわかりました。』

『作戦はとても大切だと感じました。』

『相手をよく見るのが大切だということもわかりました。』

『今までボールをもっていない人のことを深く考えませんでした。深く考えることができました。』

『作戦は1人で動くのではなく、全員で動くのが大切だとわかりました。』

『スポーツでは、協力と作戦が大切だと思いました。』

『作戦を考えることで、必殺技ができました。相手とのかけひきができるので楽しい。』

『一人で考えて動くのではなく、前もってみんなで作戦を立てることが大切。』

『クラスみんなが前より仲良くなったので、全校のみんなに広めたい。』

『ぼくたちの学校は人数が少ないので、少ない人数でも楽しく遊べる道具が増えてよかったです。』

『フラッグフットボールで、少人数でも楽しめる遊びが増えました。とても良かったです。』

『みんなと協力しながら試合をしてとても楽しかった。遊びが増えました。』

『さいしょはむずかしかったけど、ルールをちゃんと知ってやると楽しいなと思いました。』

『あまりボールにさわっていない人が点をいれたりするから、なにがあるか分からなくておもしろい。』



2010年度にフラッグフットボールの授業を実施した全国の小学校教師95人に、その授業についてのアンケート調査を実施しました。表1は、体育授業の主観的評価に関する「教師の相互作用」、「学習環境」、「意欲的学習」、「授業の勢い」、「効果的学習」、「総合評価」、および「授業の続行希望」の結果について表しています。数値はいずれも5点満点です。3点台が、合格ラインと考えました。

「総合評価」は4.2、個別の評価項目に目を向けると、「子ども達が、意欲的にフラッグフットボールに取り組んでいた」や「子ども達の笑顔や拍手、歓声などがみられた」の項目を示す「意欲的学習」が4.4という高い値を示し、授業への肯定的意見が多数見受けられました。さらに、「フラッグフットボールの授業継続」についても4.4と高く、今後の取り組みが期待できるものでした。

表1. 体育授業の主観的評価

	人数	平均値	標準偏差
教師の相互作用	95	4.0	0.51
学習環境	94	3.6	0.72
意欲的学習	95	4.4	0.48
授業の勢い	95	3.8	0.55
効果的学習	94	4.0	0.51
総合評価	95	4.2	0.65
授業の続行希望	95	4.4	0.58

しかし、授業者は、授業の質をあげていくには「学習環境」や「授業の勢い」の改善が必要だと感じていました。例えば「学習環境」次元については、「学習成果を生み出すような運動の準備」や「学習資料（学習ノート、カード）の有効活用」に今後の課題があるようです。また、「授業の勢い」次元については、「授業の場面展開」や「移動や待機」といった授業に関わるマネジメントで問題を抱えていたようです。

これらは、質の高い授業の実現に向けて事前に検討すべき課題を明示しています。実際、フラッグフットボールは、授業者が高く評価する多くの魅力を備えています。他方で、工夫したゲームが、より効果的に機能するために事前に検討すべき課題も示唆されています。

より良い授業を行うにあたっては、さまざまなゲームの理解、ゲーム中に繰り返される児童のパフォーマンスの実態やゲーム実施にあたっての作戦カードの利用など、教師側の授業に関わる事前準備が、とても重要となるでしょう。

※参考文献：高橋健夫編著（2003）：体育授業を観察評価する。明和出版



2011年度にフラッグフットボールの指導者講習会にご参加いただいた教育関係者のうち、493人に、アンケート調査を実施しました。表2は、「日本フラッグフットボール協会の活動で興味がある項目」の結果について表しています。

表2. 日本フラッグフットボール協会の活動で興味がある項目

項目	回答数
用具一式のプレゼント事業	337
フラッグフットボールの副読本や掛図（指導ポスター）の提供	243
「はじめての授業」用の教材販売（映像つき）	229
フラッグフットボール授業研究会（授業案の投稿・交流会の開催・会報の発行）	185
作戦コンクール（授業で作った作戦を応募するとクラスに記念品を贈呈）	149
小学校交流大会の企画や学校内イベントの支援	117

2011 研究活動報告において今後の課題とした「学習環境」にも関連する、「フラッグフットボールの副読本や掛図（指導ポスター）の提供」については、約半数の方にご興味をいただきました。

そこで協会として、新たに2012年度から「副読本やポスター等の授業キット」を制作し、無償にて寄付する活動を企画しております。アイデアや実践例をお持ちの先生がおられましたら、お力をお借りできれば幸いです。



指導案の紹介

全国からたくさんの指導案をご投稿いただき、研究活動に役立てております。
この場を借りまして、改めて感謝申し上げます。

下記にてご紹介する指導案は、応募いただいた指導案のうち、埼玉県八潮市の薄井好人先生による、平成23年度「小学校体育科研修会」個人研究の指導案（抜粋版）及び研究概要です。

前ページ研究活動報告にて今後の課題とした、「学習環境」「教師側の授業に関わる事前準備」「授業の勢い」に資する指導案ではないかと考えます。

指導案は下記URLからご覧いただけます。（クリックすると指導案が開きます）

http://www.japanflag.org/pdf/download_shidou01.pdf

言語活動の充実に関する指導事例

この度、文部科学省によって制作された『言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】』の指導事例（体育）に、フラッグフットボールが取り上げられました。

事例として取り上げられたフラッグフットボールの單元では、言語活動の場面を次の3つの活動で取り入れられています。フラッグフットボールの特徴である『作戦づくり』の活動が「言語活動の充実」に注目されています。

- 1 だれもが得点できる楽しさや喜びを味わうことができるように、学級全体で規則を選ぶ活動。
- 2 作戦を、チームで話し合う活動。
- 3 作戦を振り返るために、兄弟チームと話し合う活動

指導事例は下記URLからご覧いただけます。（クリックすると指導事例が開きます）

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/04/26/1300871_1.pdf